

# 米づくり情報 第9号

令和6年8月27日

平坦部(佐賀県農業試験研究センター)

## 本年産水稻の生育状況(8月27日)

移植日	項 目 品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉齡 L	葉色 SPAD	概況 (平年と比較して)
6月18日	夢しずく	本年 平年 平年比(差)	出穂期:8月15日 出穂期:8月17日 -2			[気象] 8月20日~8月26日まで ◆平均気温…平年より3.1℃高い(30.8℃) ◆日照時間…長い(平年比144%) ◆降水量…少ない(平年比93%) [生育] ◆草丈 「さがびより」は高く、「ヒヨクモチ」はやや高い。 ◆茎数 「さがびより」「ヒヨクモチ」どちらもやや多い。 ◆葉齡 「ヒノヒカリ」の主稈葉数は本年14.6、平年14.3でやや多かった。 「ヒヨクモチ」は進んでいる。 ◆葉色 「さがびより」は平年並み、「ヒヨクモチ」はやや濃い。	
	ヒノヒカリ	本年 平年 平年比(差)	出穂期:8月24日 出穂期:8月27日 -3				
6月20日	さがびより	本年 平年 平年比(差)	101.7 92.9 109	452 437 103	15.2 15.0 +0.2	36.6 35.7 +0.9	
	ヒヨクモチ	本年 平年 平年比(差)	81.5 78.2 104	531 513 104	16.2 15.6 +0.6	38.3 36.7 +1.6	
留意点	○ 「さがびより」は、“走り穂”がみられ間もなく出穂期を迎える。 ○ 「ヒヨクモチ」の出穂期は、葉耳間長から判断すると平年並み(9月4日頃)となる見込み。 ○ 「ヒヨクモチ」は紋枯病が多くみられた。また、コブノメイガの成虫も多くみられた。						

注1)「夢しずく」、「ヒノヒカリ」は、6月18日移植の稚苗(播種期5/24, 播種量 湿粃 180g/箱)  
 「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月20日移植の稚苗(播種期5/27 播種量 湿粃 180g/箱)

2)栽植密度: 「夢しずく」は、条間30cm×株間17cm, 19.6株/m<sup>2</sup>(65株/坪)  
 「さがびより」は、条間30cm×株間20cm, 16.7株/m<sup>2</sup>(55株/坪)  
 「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間30cm×株間15cm, 22.2株/m<sup>2</sup>(73株/坪)

3)栽培管理: 施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。

4)概況欄の【草丈】、【茎数】の平年値との比較については、以下のように定義している。  
 低い(少ない): 94以下、やや低い(やや少ない): 95~98、平年並み: 99~101、  
 やや高い(やや多い): 102~105、高い(多い): 106以上。

5)平年値は、収量について過去の全試験年次の標準偏差(σ)を算出し、±1σの外側にある年次を除く年次を対象にした、各項目の単純平均値。

【窒素の時期別施用量(N kg/10a)】

品 種	基 肥	中 追	穂肥 I	穂肥 II	実 肥
夢しずく	3.0	0.0	2.0(7/31)	—	—
ヒノヒカリ	4.0	2.0(7/9)	3.0(8/6)	—	—
さがびより	5.0	0.0	2.0(8/14)	—	—
ヒヨクモチ	4.0	3.0(7/12)	4.0(8/16)	1.5(8/23)	1.5

※括弧内の日付は農試作況圃場における施用日

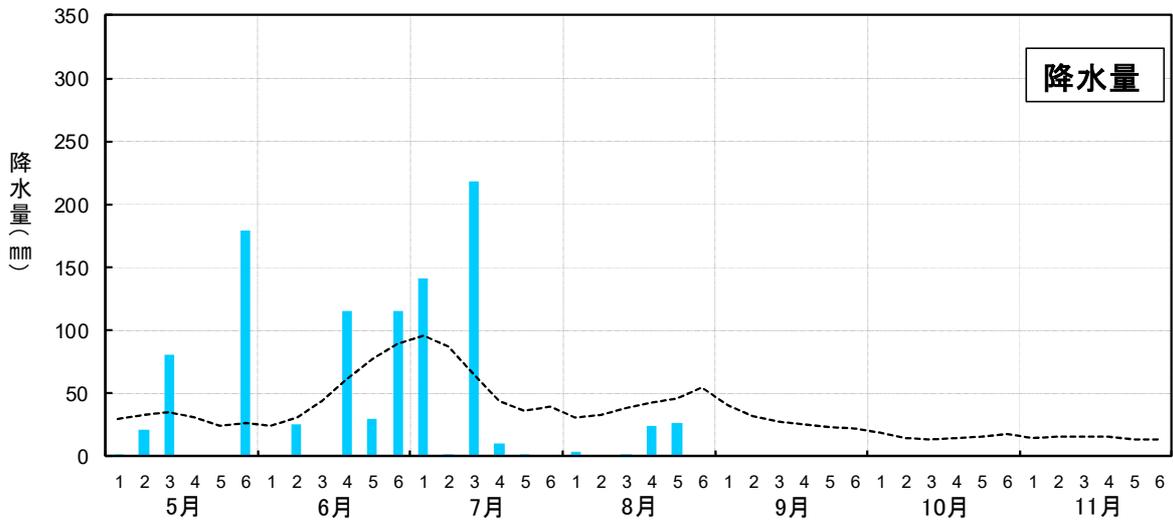
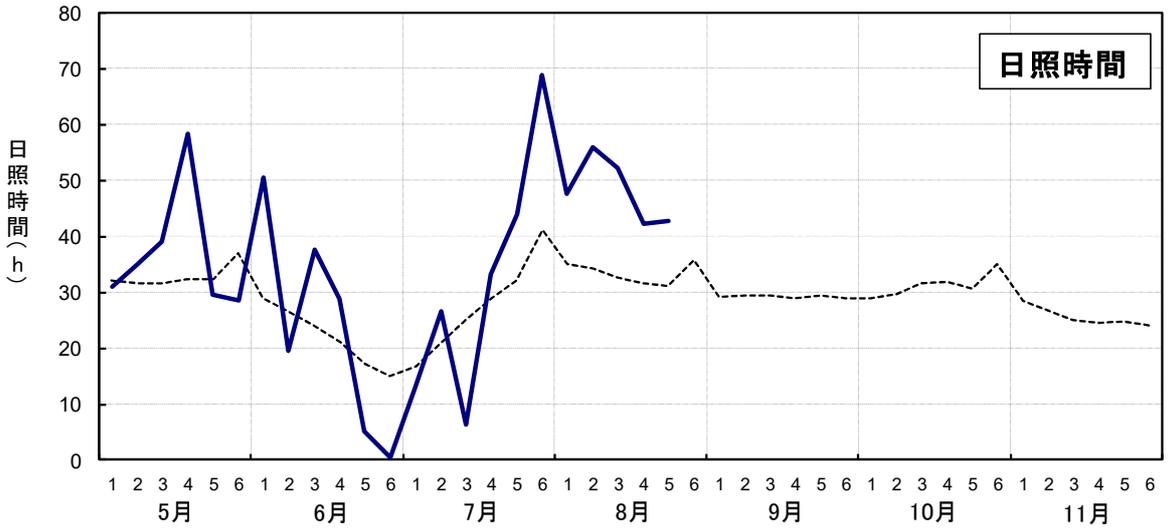
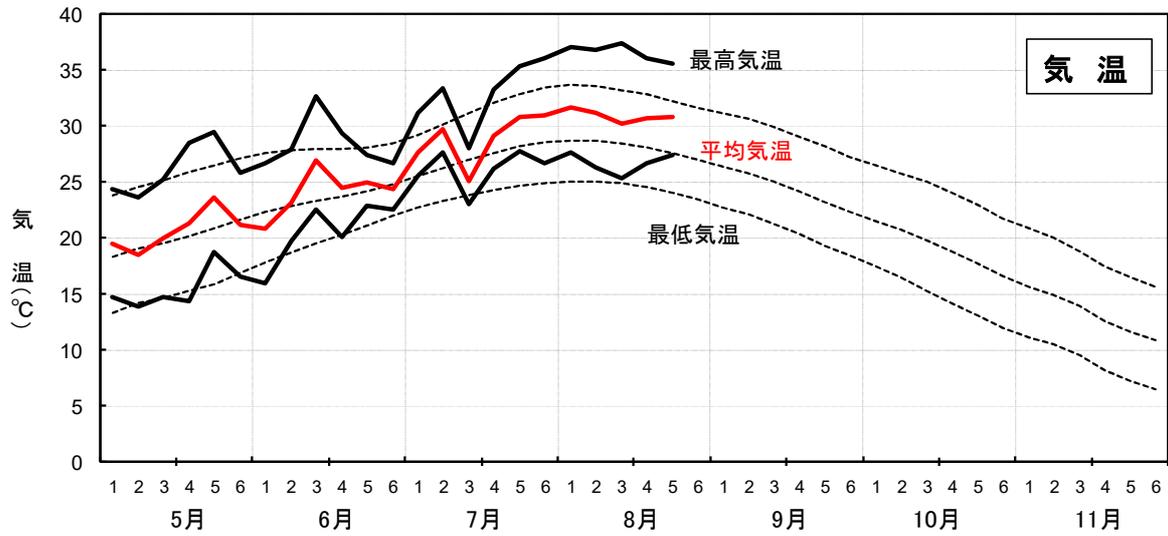
【農試作況圃場における幼穂形成始期と出穂期】

品 種	幼穂形成期(主茎幼穂長 1mm)			出穂期		
	本年(平年差)	前年	平年	本年(平年差)	前年	平年
夢しずく	7/28(±0)	7/28	7/28	8/15(-2)	8/17	8/17
ヒノヒカリ	8/2(-2)	8/7	8/4	8/24(-3)	8/27	8/27
さがびより	8/8(-1)	8/11	8/9	未	9/1	9/1
ヒヨクモチ	8/14(±0)	8/15	8/14	未	9/4	9/5

# 令和6年産 稲作期間気象図

## アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター  
作物栽培研究担当



●病害虫に関する情報は以下のリンク(農業技術防除センター病害虫防除部)よりご確認ください。

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>